

**最先端のライフサイエンス研究を支える臨床隣接ラボがアジアの玄関口福岡に誕生
『エフラボ九大病院』 2026年1月26日開業**

福岡地所株式会社（本社：福岡市博多区、代表取締役社長：榎本一郎、以下「当社」）が、福岡市東区馬出の国立大学法人九州大学病院（以下「九州大学病院」）敷地内で開発を進めてきた、当社初の賃貸型ウェットラボおよびライフサイエンス企業向け創業支援施設「エフラボ九大病院」（以下「本施設」）は、2026年1月26日（月）に開業しました。開業にあたってセレモニーを執り行いましたので、その様子をお知らせします。

開業日当日は、来賓を代表して福岡県知事 服部様、九州大学総長 石橋様、九州大学副学長 赤司様、福岡バイオコミュニティ推進会議会長 鈴木様に、また入居者代表として株式会社ガイアバイオメディシン 取締役CSO/CMO 米満様に以下のご挨拶を頂きました。



左から赤司副学長、石橋総長、榎本社長、服部知事、鈴木会長



©撮影/エスエス

■各コメント（挨拶順）**【福岡地所株式会社 代表取締役社長 榎本 一郎】**

福岡に時価総額1,000億円以上となるユニコーン企業を生み出す拠点となるべく検討を重ね、関係者皆様のご尽力により本日開業を迎えることができた。九大病院では毎日約4,000名の患者様を診療しており、その検体を用いた研究から日々ライフサイエンス上の発見が起きている。命のために働いているドクターの研究成果、つまり圧倒的密度で生まれるシーズのビジネス化を徹底的に支えたい。その果実を九州大学の研究に還元する好循環を創り出したい。

【福岡県知事 服部 誠太郎 様】

福岡県のバイオ産業振興の新たなページが開かれた。福岡バイオコミュニティとしての民間インキュベーション施設認定第1号となる本施設で、一つ屋根の下、産官学のシームレスな支援体制のもと福岡県から世界に羽ばたくバイオスタートアップが次々と生まれることを期待している。CIC Fukuoka内の県のスタートアップ支援拠点「グローバルコネクト福岡」とも結んで、資金・人材・協業などスタートアップを育てていくためのエコシステムを完成させていきたい。

【九州大学総長 石橋 達朗 様】

ライフサイエンスやバイオテクノロジーの分野は研究成果をいかに社会還元するかが大きな課題。研究の実用化には長い年月を要するのが一般的であるが、本施設は開発を一気通貫で支援する役割を果たす場である。数だけでなく質の高いスタートアップの輩出を目指し、本施設内の九州大学病院 ARO次世代医療センターとも協業しながら、西日本全体の産学官連携を牽引する存在になることを期待している。

【九州大学副学長 赤司 浩一 様】

九州大学の建学の精神である「実務的・実用的な研究」「地域への貢献」を体現する施設である。最大の特徴は、橋渡し拠点の中心であるARO次世代医療センターが直結している点にある。規制が多く難易度の高い医療系スタートアップにおいて、この物理的な近さと支援体制は強力な後押しとなり、革新的なアウトプットを加速させると確信している。

【福岡バイオコミュニティ推進会議会長 鈴木 蘭美 様】

医療技術の革新が進む今、福岡で生まれた発明や知恵が世界中の患者の皆様に届くインフラが整いつつある。本施設は臨床現場と大学の総合知が結びつく、独創的かつ革新的な創薬・医療イノベーション拠点である。福岡バイオコミュニティ認定施設である本施設に設置した専用の相談窓口を通じ、スタートアップを全力で支援することで、世界を舞台に羽ばたく価値を共に創造していきたい。

【株式会社ガイアバイオメディシン 取締役CSO/CMO 米満 吉和 様】

現在進めている治験の最終段階を見据え、本施設内に上市製品を製造できる細胞製造施設を構築する。現在、九州大学病院の中で治験製品を製造しており、今度は本施設の中で上市製品を製造し、製造販売業も営んでいくという、まさにそのきっかけになるチャンスを得た。本施設は日本のバイオベンチャーが自らの手で製品を世に送り出すための、爆発的なポテンシャルを持つ場所であると確信している。

<注目ポイント>

- ・ 国内初の大学病院敷地内に誕生した民間研究施設が2026年1月開業！
- ・ 50社超との産官学の強力なパートナーシップにより創薬研究を全面サポート！
- ・ 医療イノベーションを通じて、新たな雇用創出や若手人材の定着など地域経済の活性化にも寄与！

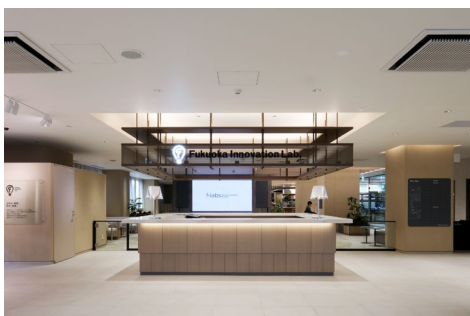
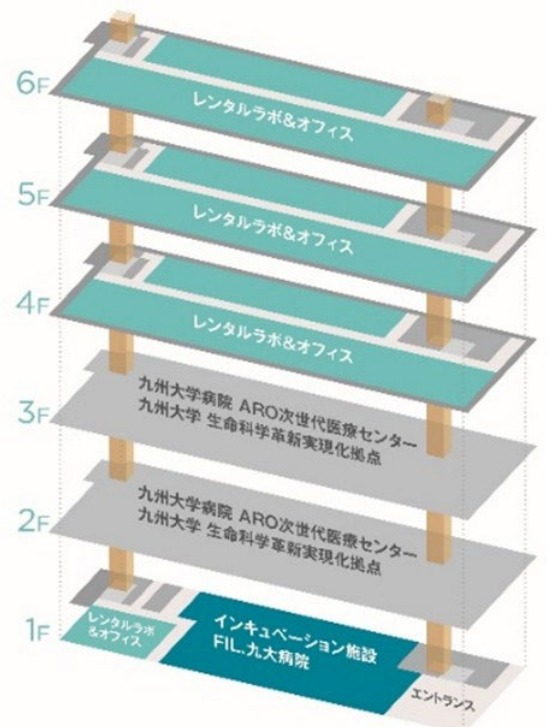
『エフラボ九大病院』の特徴

本施設は九州大学病院と渡り廊下で連結しており、同病院の臨床機能とシームレスに連携できる点が大きな特徴です。開業時点で50社超が参画する本施設のエコシステムをさらに拡大し、「アジアの玄関口」福岡を起点に、ライフサイエンス分野の研究および産業の発展に貢献してまいります。

地上6階建てで、1階にはインキュベーション施設「Fukuoka Innovation Lab.九大病院（通称「FIL.九大病院」）」を設置。コワーキングオフィス、会議室、イベントスペースに加え、初期投資不要で1ベンチから利用可能なシェアラボを整備します。

シェアラボは、入居者が低コストで利用できる34種の共通実験機器に加え、実験に必要な内装や備品などの共用設備を備えています。また、資金調達やビジネスマッチングなどについて相談できるパートナー企業との連携機会を提供し、事業成長を支援します。

2～3階には「九州大学病院ARO次世代医療センター」および「九州大学生命科学革新実現化拠点」が入居します。4～6階は最小54㎡から最大1フロア1,175㎡まで専有可能なレンタルラボおよびオフィスとして整備しており、ライフサイエンス系企業の入居を見込んでいます。



エントランス



シェアラボ



交流スペース

『エフラボ九大病院』開業セレモニー 及び メディア向け説明会・内覧会 開催概要

- 日 時 2026年1月26日（月） 9:15～12:00
- 場 所 エフラボ九大病院 1階「Fukuoka Innovation Lab. 九大病院」 イベントスペース
（住所：福岡県福岡市東区馬出3丁目1番1-3号）
- 出席者 主催：福岡地所株式会社 代表取締役社長 榎本 一郎
来賓：福岡県知事 服部 誠太郎 様
九州大学総長 石橋 達朗 様
九州大学副学長 赤司 浩一 様
福岡バイオコミュニティ推進会議会長 鈴木 蘭美 様
株式会社ガイアバイオメディシン 取締役CSO/CMO 米満 吉和 様
- 内 容 9:15～10:30 メディア向け説明会・内覧会
11:00～11:30 開業セレモニー（主催者挨拶・来賓祝辞・テープカット）
11:30～12:00 フォトセッション・囲み取材

<報道関係者お問い合わせ>

福岡地所株式会社 企画部 広報

TEL:092-272-2787 FAX:092-272-5553

URL <https://fukuokajisho.com/>